

経営比較分析表（令和5年度決算）

岩手県八幡平市 八幡平市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	4	-	透訓	救 臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
23,541	6,013	第2種該当	-	13：1

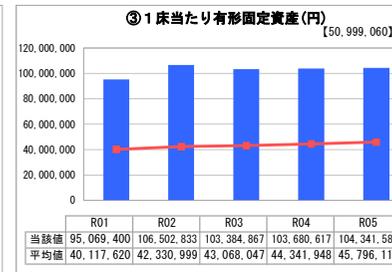
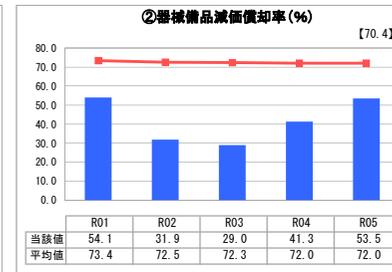
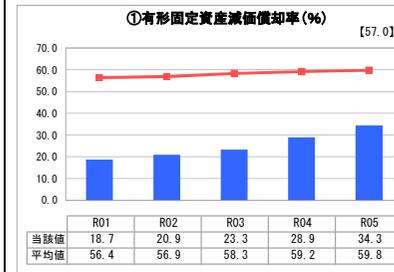
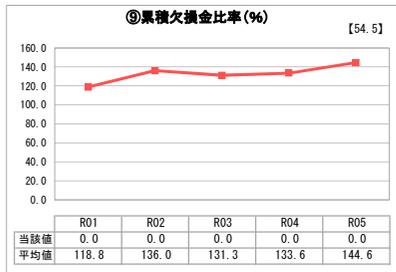
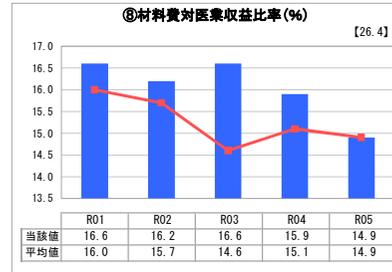
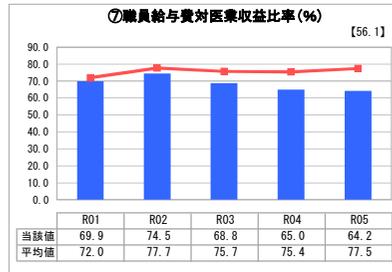
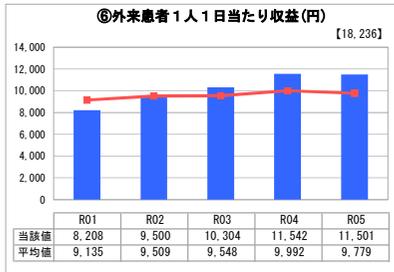
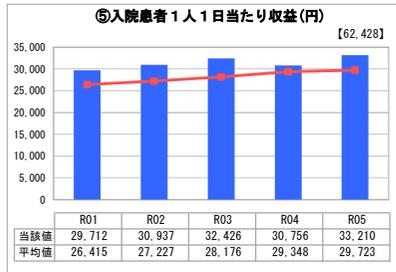
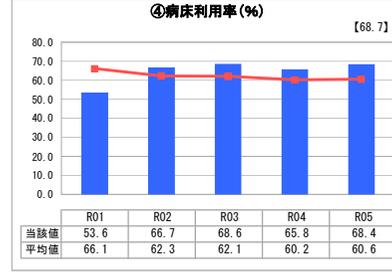
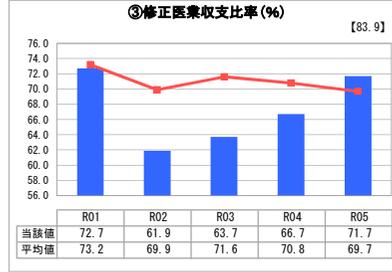
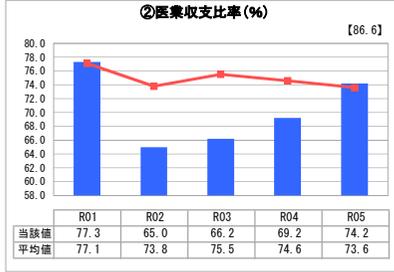
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
60	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	60
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
52	-	52

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

① 組織分化・運営強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	② 地方独立行政法人化	③ 指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

地域医療の拠点として、一般病床60床（うち地域包括ケア病床36床）と常設の診療科外来のほか専門外来及び人工透析外来を継続し、診療の充実と良質な医療の提供に努めている。

地域医療連携の強化、地域包括ケアシステムへの積極的な参画が求められている中においては、盛岡圏域の医療機関と連携した医療体制を構築し、近隣の医療機関との役割分担を担いながら在宅復帰のための支援を行っている。「地域に根ざし、親しまれる病院づくり」を目指し、地域包括ケア病床を核に、訪問診療・訪問看護などの在宅医療の拡充を図る。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も引き続き感染外来診療を行うとともに、入院を必要とする患者の受入病床を確保して入院治療を行い、院内感染対策にも積極的に取り組んだ。入院患者の受入れ態勢が回復したことから、延べ入院患者数及び入院収益が増加した。また、常勤医師による診療に加え、消化器内科など9つの専門外来と人工透析外来の継続により他市町村からの患者も増加傾向にあり、全体的に医業収益の向上が見られた。材料費は在庫数の適正管理に努め、コストの削減を図った。

経営の健全性を示す「経常収支比率」は入院患者数の増加等により医業収益は増加したが、一般会計繰入金が減額となったことで前年度比減の105.9%となった。経営の収益性を示す「修正医業収支比率」は、医業収益の増により前年度比増の71.7%となった。「経常収支比率」及び「修正医業収支比率」から、医業収益のほか一般会計繰入金により、病院事業に必要な費用を賄っている状況となっている。

令和5年度は「八幡平市立病院経営強化プラン」を策定。今後はこのプランに基づき、質の高い医療の提供と併せて、経営の健全化に取り組んでいく。

2. 老朽化の状況について

令和5年度は、安代診療所外壁等改修工事を行い、施設の適切な維持管理に努めたほか、大腸びろスコープや上部消化管汎用びろスコープなどの医療機器を購入し、安心安全で良質な医療を提供できる体制を整備した。

令和2年度に病院が新築転移し、建物及び医療機器等が更新されたことにより、減価償却率が低くなっている。今後は、予防保全を含め計画的な改修を行い長寿命化を図る。

全体総括

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、病棟ロックダウンにより入院患者数が減少した令和4年度と比較し、令和5年度は院内感染防止対策を継続して取組むことにより、入院患者の受入れ体制が回復し入院患者数の増加につながった。

しかし、病院建設や医療機器等の更新に伴う企業価値減額や医業費用に加えて、人件費のほか物価の高騰等による医業費用も増大しており、今後もより一層、収益の確保と経営コストの削減に取り組む必要がある。

今後においては、策定した「八幡平市立病院経営強化プラン」を基に、地域医療や看護の推進により入院患者数を増やし、病床利用率・診療単価の向上及び経費の削減などの取り組みを行い、経営の効率化を図っていく。また、地域の中核病院として、病院機能を最大限に発揮し、地域のニーズを的確に捉えた質の高い医療の提供を行っていくとともに、引き続き、新興感染症の発生時には地域医療を牽引する観点として感染外来及び各種検査等の対応を維持していくものである。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。